

箱根とその周辺山地の草花や樹木の花 約550種をカラー写真で紹介する植物図鑑

最新刊『箱根に咲く花』4月15日発売

『丹沢に咲く花』『高尾山に咲く花』に続く「咲く花」シリーズ第三弾

株式会社有隣堂（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：松信 健太郎）は、4月15日、当社出版物の最新刊として、『箱根に咲く花』を発売いたします。箱根及び周辺の山は、特有性のある植物が多く生育する地域です。本書は、箱根に咲く草花や樹木の花、牧野富太郎が命名した植物を含む約550種を、著者の勝山輝男氏が現地で撮影した写真とともに解説した、他に類を見ない植物図鑑です。持ち運びやすいハンドブックサイズで、箱根観光や、自然、植物のフィールドワークに役立つ一冊です。

- 書名：『箱根に咲く花』
- 著者：勝山輝男
- 出版社：有隣堂
- 定価：税込2,200円（本体2,000円+税）
- 体裁：新書サイズ 256頁
- ISBN：ISBN978-48966-0247-0
- 発売日：2024年4月15日（月）
- 取り扱い：有隣堂各店（一部店舗除く）、全国の書店
- 内容：

箱根及びその周辺の山地で見られる草花や樹木の花、約550種を現地で撮影したカラー写真と解説で紹介。解説には、花や植物の見られる時期、学名、科名を記載。それぞれの特徴や生息環境、分布状況を示すとともに地域の固有種についても表記。巻末には関連用語解説、索引を掲載しています。

- 書籍ページ：<https://www.yurindo.co.jp/yurin/tanko/33150>



■本書のみどころ

・箱根周辺の特有性

神奈川県西部の丹沢、小仏、箱根は性質の違う山地であり、生育している植物もそれぞれに違いがあります。その中でも、箱根周辺は、約50種の植物が植物標本（地域の自然環境の歴史的な変化を知る手がかりになるような植物）として取り上げられる、植物学の世界でも重要視される地域です。

また、日本の植物分布は大きく5つのパターンに分かれ、その一つに、日本列島がアジア大陸から離れる時に生まれた大きな溝・フォッサマグナの形成に由来するフォッサマグナ要素と呼ばれる植物群があります。本書ではその中の約40種を掲載しています。

著者：勝山 輝男（かつやま てるお）

1955年神奈川県横浜市生まれ。東京農業大学農学部卒業。神奈川県生命の星・地球博物館学芸部長を経て、現在名誉館員。

神奈川県植物会会長。専門は植物分類学・繊維束植物。

著書に『日本のスゲ（増補改訂）』

（文一総合出版）、共著に『高尾山に咲く花』（有隣堂）、分担執筆に『神奈川県植物誌2018』（神奈川県植物調査会）などがある。

・類書の少ない箱根及びその周辺山地に限定した植物図鑑
箱根に分布するフォッサマグナ要素の植物を多く紹介しています。

箱根が基準産地の植物は約 50 種、
フォッサマグナ要素の植物は約 40 種掲載しています。
そのうち約 20 種は箱根が新種で標本採取した基準産地で
この地域にしかないフォッサマグナ要素の植物です。

※参考情報：「フォッサマグナ要素の植物」について解説文
『丹沢に咲く花』と『高尾山に咲く花』 寄稿者：勝山輝男
・Web 版「有鄰」第 568 号 2020 年 5 月 10 日発行
<https://www.yurindo.co.jp/yurin/21110/2>



ハコネギク
箱根が基準産地
フォッサマグナ要素



キントキゴタイ
箱根が基準産地
フォッサマグナ要素

・牧野富太郎が命名した植物や箱根に関する名称、
学名が付いた植物も多く紹介

「日本の植物学の父」ともいわれる牧野富太郎は、
植物の特有性ある土地として、箱根を重要視していました。
箱根の乙女峠で発見したことに由来するオトメスミレをはじめ、
ハコネギクや、富士、箱根、伊豆半島のみ分布するハコネグミ
など、牧野が命名した植物を多く紹介しています。

※参考情報：牧野富太郎と神奈川 寄稿者：伊藤千恵
・Web 版「有鄰」第 585 号 2023 年 3 月 10 日発行
<https://www.yurindo.co.jp/yurin/31939/2>



オトメスミレ
箱根が基準産地

■ シリーズ紹介

『丹沢に咲く花』

NPO 法人丹沢自然保護協会：編
新書判／紙版 1,650 円(税込)
書籍ページは[こちら](#)



『高尾山に咲く花』

勝山輝男：著 村川博實：写真
新書判／紙版 1,980 円(税込)
電子版 EPUB 画像形式
書籍ページは[こちら](#)

